

母子保健・予防接種

☎ 子育て家庭課 ☎56-0210

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
母子健康手帳交付	6日(金) 10:00集合	妊婦
	26日(木) 13:30集合	
予 パパママ教室(1回目) ※定員9組	17日(火) 10:00開始～11:00終了予定	主に妊娠6か月頃までの初妊婦とそのパートナー
予 パパママ教室(2回目) ※定員9組	14日(土) 9:15受付～11:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は子ども家庭課へ連絡してください)	
予 妊婦訪問	訪問は妊婦中1回	
予 赤ちゃん訪問	3～4か月児健診受診前	
すべての赤ちゃんとその保護者		
予 のびのび計測日※1	4日(水) 10:00～10:30受付	未就園児※1 医師の診察はありません 予 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はバスタオル
予 妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください	
妊婦と産後1年未満の産婦		

市内委託医療機関で予約	予 ロタウイルス	対 1価ワクチン 出生6～24週 5価ワクチン 出生6～32週
	予 B型肝炎	対 生後1歳未満
	予 小児用肺炎球菌	対 生後2～60月に至るまで
	予 5種混合	対 生後2～90月未満
	予 BCG	対 生後1歳未満
	予 麻しん・風しん混合(MR)	対 第1期 生後12～24月未満 第2期 小学校入学前の1年間
	予 水痘	対 生後12～36月未満
	予 日本脳炎	対 1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
	予 2種混合	対 11～13歳未満
	予 HPV 2価・4価・9価	対 小学6年生～高校1年生の女子 ※1997～2008年度生まれで、2022年4月1日～2025年3月31日に1回以上接種し、接種完了していない女子(キャッチアップ接種経過措置)

成人保健・予防接種

☎ 健康推進課 ☎63-3300

成人保健 定期予防接種	予 個別子宮頸がん・乳がん検診	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください。	西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
	予 带状疱疹	対 2025年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳となる人、100歳以上の人はまたは60～64歳のヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある人	
	予 高齢者肺炎球菌	対 65歳の人または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある人	
	予 新型コロナウイルス感染症	対 65歳以上の人または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能などに障がいがある人	

<任意予防接種助成> 風しんワクチンの接種費用の一部を助成します(対象者に限る)。

その他お知らせ

納期限(3月2日)		
税目	納期	問合先
固定資産税・都市計画税	第4期	収納課 ☎56-0610
国民健康保険税	第8期	
介護保険料	第6期	長寿課 ☎56-0613
後期高齢者医療保険料	第8期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、前日までに残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所

☎0561-73-7555

診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター

☎0561-82-1133

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問合せください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。

ドクターからあなたへ

みなさん、骨粗鬆症を知っていますか?加齢とともに骨は弱くなっていくものですが、それが若年者でも生じたり、急速に進行して骨折しやすい状況になると病気として治療対象となります。骨粗鬆症になると、少し転んだ程度のわずかな衝撃で骨折することがあります。自覚症状がないまま進行する怖い病気、若いから大丈夫!骨の丈夫さには自信がある!運動を頑張っている!という場合でも、検査で骨粗鬆症と診断されてショックを受ける人がいます。

骨粗鬆症で特に問題となる骨折が「大腿骨頸部骨折」や「腰

骨粗鬆症について

きしもと整形外科 岸本烈純

椎圧迫骨折」で、これらを起こすと入院や手術が必要になり、本人とご家族の時間的・経済的・人的負担となります。骨粗鬆症は予防と早期発見が大切です。早めに骨密度検査を受けることで、骨の強さを数値で知ることができ、薬や食事、運動などによる適切な治療を始められます。特に「大腿骨頸部骨折」や「腰椎圧迫骨折」の骨折部位である、大腿骨や腰椎の骨密度は治療方針を決めるための参考となります。わずかな衝撃での骨折を防ぎ、いつまでも自分の足で元気に暮らすため、早めに骨密度検査を受けて骨の健康を確認しましょう。